

資料 4-2

意見の概要および市の考え方

[彦根市立幼稚園・保育所・こども園施設整備計画(中間見直し)(素案)意見公募手続結果]

No	意見の概要	意見数	市の考え方
I 施設更新に伴う施設の充実について			
1	施設の更新に当たっては、可能な限り子どもにとって魅力のある施設、教育者にとって教育効果が得られる施設になるよう設備・物品の充実をお願いしたい。	1 件	今回の意見公募では、市立幼稚園・保育所の老朽化に伴う整備に併せて、幼稚園の定員割れと保育所待機児童の解消を念頭に入れた、効率的で効果的な施設整備に関してのご意見を募集したものであるため、個々の施設の設備・物品の充実に関しては、今後の参考とさせていただきます。
2	各施設の更新に係る計画書作成時には、現場の教職員の声を十分に聴いてほしい。(魅力ある遊具、花壇、畑、絵本コーナーの設置など。) また、軟弱地盤等に対応できるような強度のある建物としてほしい。	1 件	今回の意見公募では、市立幼稚園・保育所の老朽化に伴う整備に併せて、幼稚園の定員割れと保育所待機児童の解消を念頭に入れた、効率的で効果的な施設整備に関してのご意見を募集したものであるため、個々の施設更新に係る現場の教職員の意見聴取、強度のある建物については、建築に係る設計等も含めて今後の参考とさせていただきます。
II 教育・保育ニーズ量の将来推計(22 頁)に伴う施設更新について			
1	今後、市内の幼稚園の定員割れが予想される中、彦根市として、幼稚園のあり方を考え直す必要がある。平成 29 年度に幼稚園からこども園へ移行した平田こども園に続く形で城北幼稚園、金城幼稚園が幼保連携型認定こども園に移行する計画であるが、残り 6 幼稚園についても早い時期から考えていく必要がある。 教育・保育ニーズ量の将来推計(22 頁)では、「東・南・彦根中学校区は教育・保育ニーズが多い。」とあるため、これらの学校区にある幼稚園の更新時においては、保育ニーズを受けることも視点にしてほしい。(預かり保育のニーズの高まりはこども園への移行を望んでいると思われる。)	1 件	今回は、当初計画(平成 28 年度から令和 7 年度まで)の中間見直しであることから、令和 8 年度以降の内容については、次回の計画策定に検討する予定をしております。 今回、いただきましたご意見につきましては、次回の計画策定に当たり参考とさせていただきます。